

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5103192号

(P5103192)

(45) 発行日 平成24年12月19日 (2012.12.19)

(24) 登録日 平成24年10月5日 (2012.10.5)

(51) Int. Cl.

F 1

A 6 3 B 55/00 (2006.01)

A 6 3 B 55/00

Z

請求項の数 20 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2008-2468 (P2008-2468)	(73) 特許権者	591086452
(22) 出願日	平成20年1月9日 (2008.1.9)		カーステン マニュファクチュアリング
(65) 公開番号	特開2009-82686 (P2009-82686A)		コーポレーション
(43) 公開日	平成21年4月23日 (2009.4.23)		アメリカ合衆国 85029 アリゾナ,
審査請求日	平成23年1月4日 (2011.1.4)		フェニックス, ウェスト デザート コウ
(31) 優先権主張番号	60/884, 259		ブ 2201
(32) 優先日	平成19年1月10日 (2007.1.10)	(74) 代理人	110000110
(33) 優先権主張国	米国 (US)		特許業務法人快友国際特許事務所
(31) 優先権主張番号	11/848, 914	(72) 発明者	ブライアン ジェイ. マクガイヤー
(32) 優先日	平成19年8月31日 (2007.8.31)		アメリカ合衆国 85281 アリゾナ州
(33) 優先権主張国	米国 (US)		テンピ イースト マッキンリー 12
			O

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ストラップガイドアセンブリを備えたゴルフバッグ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゴルフバッグであって、

本体とショルダーストラップアセンブリとストラップガイドアセンブリとを備えており、

、

前記本体は、

頂端部および底端部を備えた略筒状であり、前記本体の長手方向に沿って伸びるスピナル軸を備えており、

前記ショルダーストラップアセンブリは、

第1ショルダーストラップおよび第2ショルダーストラップを備えており、

前記第1ショルダーストラップは、前記本体の前記頂端部近傍の第1位置において前記本体に取り付けられる上端部と、前記本体の前記頂端部および前記底端部の中間の第2位置において前記本体に取り付けられる下端部を有し、

前記第2ショルダーストラップは、前記本体の前記頂端部近傍の第3位置において前記本体に取り付けられる上端部と、前記本体の前記頂端部および前記底端部の中間の第4位置において前記本体に取り付けられる下端部を有しており、

前記ストラップガイドアセンブリは、

前記第2ショルダーストラップと前記本体との間に動作可能に取り付けられる弾性部材を含んでおり、その弾性部材が、前記第2ショルダーストラップの中間部分と前記本体の前記頂端部および前記底端部の中間の第5位置との間に引張力を加えるゴルフバッグ。

10

20

## 【請求項 2】

前記弾性部材は、前記第 2 ショルダーストラップに前記第 2 ショルダーストラップの前記上端部および下端部の中間においてスライド可能に取り付けられている請求項 1 に記載のゴルフバッグ。

## 【請求項 3】

前記弾性部材は、孔を有するシャックルに取り付けられ、前記第 2 ショルダーストラップは、前記シャックルの前記孔内を通過している請求項 2 に記載のゴルフバッグ。

## 【請求項 4】

前記弾性部材はゴムひもである請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のゴルフバッグ。

## 【請求項 5】

前記第 1 位置が前記スピナル軸の第 1 側に向かって横方向にオフセットされているとともに、前記第 2 位置が前記スピナル軸の前記第 1 側とは反対側の第 2 側に向かって横方向にオフセットされることによって、前記第 1 ショルダーストラップが前記スピナル軸を横切って斜め方向に伸びており、

前記第 3 位置が前記スピナル軸の第 2 側に向かって横方向にオフセットされているとともに、前記第 4 位置が前記スピナル軸の前記第 1 側に向かってオフセットされることによって、前記第 2 ショルダーストラップが前記スピナル軸を横切って斜め方向に伸びるとともに前記第 1 ショルダーストラップと交差する請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のゴルフバッグ。

## 【請求項 6】

前記弾性部材は、前記第 2 ショルダーストラップを前記スピナル軸の前記第 1 側に向かって付勢する請求項 5 に記載のゴルフバッグ。

## 【請求項 7】

前記弾性部材は、

前記第 2 ショルダーストラップが降ろされているとき、前記第 2 ショルダーストラップを前記スピナル軸の前記第 1 側に向かって移動させるために十分な強度を有しており、

前記第 2 ショルダーストラップが背負われているとき、前記第 2 ショルダーストラップの前記中間部分が実質的に直線状に伸びるために十分な柔軟性を有する請求項 6 に記載のゴルフバッグ。

## 【請求項 8】

ゴルフバッグであって、

本体とショルダーストラップアセンブリと付勢手段とを備えており、

前記本体は、

頂端部および底端部を備えた略筒状であり、前記本体の長手方向に沿って伸びるスピナル軸を備えており、そのスピナル軸によって第 1 側および第 2 側に分割されており、

前記ショルダーストラップアセンブリは、

第 1 ショルダーストラップおよび第 2 ショルダーストラップを備えており、

前記第 1 ショルダーストラップは、前記本体の前記頂端部近傍に前記本体に前記第 1 側部側に向かってオフセットされて取り付けられている上端部を有し、

前記第 2 ショルダーストラップは、前記本体の前記頂端部近傍に前記本体に前記第 2 側部側に向かってオフセットされて取り付けられている上端部を有しており、

前記付勢手段は、

前記第 2 ショルダーストラップの中間部を前記第 1 側に向かって付勢するゴルフバッグ

。

## 【請求項 9】

前記付勢手段は、前記第 2 ショルダーストラップの前記上端部および前記下端部の中間にスライド可能に取り付けられているストラップガイドアセンブリを備える請求項 8 に記載のゴルフバッグ。

## 【請求項 10】

前記第 1 ショルダーストラップは、前記本体に前記第 2 側に向かってオフセットされて

10

20

30

40

50

取り付けられている下端部をさらに備え、

前記第 2 ショルダーストラップは、前記本体の頂端部および底端部の中間において前記本体に前記第 1 側に向かってオフセットされて取り付けられている下端部をさらに備える請求項 8 又は 9 に記載のゴルフバッグ。

【請求項 1 1】

前記ストラップガイドアセンブリは、前記本体と前記第 2 ショルダーストラップとの間に動作可能に取り付けられる弾性部材を備える請求項 9 に記載のゴルフバッグ。

【請求項 1 2】

前記ストラップガイドアセンブリは、前記弾性部材と前記第 2 ショルダーストラップとの間に配置されるシャックルをさらに備える請求項 1 1 に記載のゴルフバッグ。

10

【請求項 1 3】

前記弾性部材はゴムひもである請求項 1 2 に記載のゴルフバッグ。

【請求項 1 4】

前記シャックルは、前記第 2 ショルダーストラップが通過している孔を有する請求項 1 3 に記載のゴルフバッグ。

【請求項 1 5】

ゴルフバッグであって、

本体とショルダーストラップアセンブリと付勢手段とを備えており、

前記本体は、

頂端部および底端部を備えた略筒状であり、前記本体の長手方向に沿って伸びるスピナル軸を備えており、前記スピナル軸によって第 1 側および前記第 1 側と反対側の第 2 側に分割されており、

20

前記ショルダーストラップアセンブリは、

第 1 ショルダーストラップおよび第 2 ショルダーストラップを備えており、

前記第 1 ショルダーストラップは、前記本体の前記頂端部近傍の第 1 位置において前記本体に前記第 1 側に向かって横方向にオフセットされて取り付けられている上端部と、前記本体の前記頂端部および前記底端部の中間の第 2 位置において前記本体に前記第 2 側に向かってオフセットされて取り付けられている下端部を有し、

前記第 2 ショルダーストラップは、前記本体の前記頂端部近傍の第 3 位置において前記本体に前記第 2 側に向かってオフセットされて取り付けられている上端部と、前記本体の前記頂端部および前記底部の中間の第 4 位置において前記本体に前記第 1 側に向かってオフセットされて取り付けられている下端部を有し、

30

前記第 1 ショルダーストラップおよび前記第 2 ショルダーストラップが、各々、スピナル軸を横切って斜め方向に伸びており、

前記付勢手段は、

前記第 2 ショルダーストラップの中間部を前記第 1 側に向かって付勢するゴルフバッグ

。

【請求項 1 6】

前記付勢手段は、前記第 2 ショルダーストラップに前記第 2 ショルダーストラップの前記上端部および前記下端部の中間においてスライド可能に取り付けられているストラップガイドアセンブリを備える請求項 1 5 に記載のゴルフバッグ。

40

【請求項 1 7】

前記ストラップガイドアセンブリは、シャックルに取り付けられている弾性部材を備える請求項 1 6 に記載のゴルフバッグ。

【請求項 1 8】

前記シャックルは、前記第 2 ショルダーストラップが通過している孔を有する請求項 1 7 に記載のゴルフバッグ。

【請求項 1 9】

前記弾性部材はゴムひもである、請求項 1 7 又は 1 8 に記載のゴルフバッグ。

【請求項 2 0】

50

前記ストラップガイドアセンブリは、前記本体の前記頂端部および前記底端部の中間の位置に取り付けられている請求項 16 から 19 のいずれ一項に記載のゴルフバッグ。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本出願は、2007年1月10日に出願された米国仮特許出願第60/884,259号明細書の利益を主張する通常の特許出願である。

【0002】

本発明は、概してゴルフ用品に関し、特にゴルフバッグ用ショルダーストラップアセンブリに関する。

10

【背景技術】

【0003】

ゴルフコースでゴルフクラブを携行するために使用されるゴルフバッグは、通常、ゴルフバッグを一方の肩で支えるシングルショルダーストラップか、または、ゴルフバッグを両肩で支えるデュアルショルダーストラップ構成を有する。デュアルショルダーストラップ構成には、ゴルフバッグを比較的長い距離携行する場合に、ゴルフバッグの重量を両肩で支えることができ、さらに、パッティンググリーンを横切る等の短い距離の場合に、一方の肩で持ち運ぶことができるという利点がある。

【発明の開示】

20

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

ゴルファーは、デュアルショルダーストラップ構成を有するゴルフバッグを携行するために所定の位置まで持ち上げる場合、まず第1ショルダーストラップを自身の強い肩（通常、右利きのゴルファーの場合は右肩）の上に持ち上げ、その後、手を後ろに回して第2ストラップを把持し自身の他方の肩に掛ける。このとき、ゴルフバッグが間違った方向に引き上げられると、第2ストラップが、ゴルフバッグのゴルファーの体から最も離れた側に落ちることになり、第2ショルダーストラップを把持するために手を後ろに回すことがいくらか不便となることがある。

【課題を解決するための手段】

30

【0005】

本発明は、本体とショルダーストラップアセンブリとを有するゴルフバッグからなる。本発明の例示的な実施形態によれば、ショルダーストラップアセンブリは第1ショルダーストラップを備えている。第1ショルダーストラップの上端部は本体のスピナル軸（背骨軸）の第1側に取り付けられ、下端部は本体のスピナル軸の反対側の第2側に取り付けられる。ゴルフバッグはまた、上端部および下端部が第1ショルダーストラップとは逆側に取り付けられる第2ショルダーストラップも有し、それにより、2つのショルダーストラップは本体のスピナル軸上で互いに交差する。例えば、ゴムひも等の弾性部材を備えるストラップガイドアセンブリが第2ショルダーストラップの中間部分に接続されることにより、第2ショルダーストラップをゴルフバッグの第1側に向かって付勢する。ゴルフバッグが所定位置に持ち上げられるとゴルフバッグの第1側がゴルファーにより近くなる。このため、第2ショルダーストラップをゴルフバッグの第1側に向かって付勢することにより、ゴルファーは、ゴルフバッグの第2側に手を伸ばす必要なく第2ショルダーストラップを迅速に把持することができる。

40

【実施例】

【0006】

図1および図2を参照すると、ゴルフバッグ10は、頂端部12と、底端部14と、頂端部12と底端部14との間を長手方向に伸びるスピナル軸15と、を備える略筒状の本体11を有する。本体11の頂端部12は、参照により本明細書に援用されるソルハイム（Solheim）によるに開示されているものに類似するスロート構造16を含む。本

50

体 1 1 の頂端部 1 2 および底端部 1 4 の近くに、ハンドル 1 8 を設けてもよい。また、ゴルフバッグ 1 0 には、本体 1 1 に取り付けられるアクセサリポケット 1 9 a、1 9 b が備え付けられていてもよい。

【 0 0 0 7 】

ゴルフバッグ 1 0 は、第 1 ショルダーストラップ 2 0 および第 2 ショルダーストラップ 2 2 を含むショルダーストラップアセンブリ 2 5 を含む。第 1 ショルダーストラップ 2 0 は、本体 1 1 の頂端部 1 2 に近接する第 1 位置 2 6 において本体 1 1 に取り付けられる上端部 2 4 を有する。第 1 ショルダーストラップ 2 0 はまた、第 2 位置 3 0 において本体 1 1 に取り付けられる下端部 2 8 を有する。第 2 位置 3 0 は、頂端部 1 2 から離間しており、本体 1 1 の頂端部 1 2 および底端部 1 4 の中間である。第 1 ショルダーストラップ 2 0 は、その上端部 2 4 と下端部 2 8 との間に細長いパッド 2 1 を有する。特に図 2 を参照すると、第 1 位置 2 6 はスピナル軸 1 5 の第 1 側 1 7 にあり、第 2 位置 3 0 はスピナル軸 1 5 の反対側の第 2 側 2 7 に位置する。この第 1 位置 2 6 および第 2 位置 3 0 の向きにより、第 1 ショルダーストラップ 2 0 が第 1 ショルダーストラップ 2 0 の上端部 2 4 と下端部 2 8 との間でスピナル軸 1 5 を横切る。

【 0 0 0 8 】

第 2 ショルダーストラップ 2 2 は、第 3 位置 3 6 および第 4 位置 3 8 のそれぞれにおいて本体 1 1 に取り付けられる上端部 3 2 および下端部 3 4 を有する。第 2 ショルダーストラップ 2 2 は、その上端部 3 2 と下端部 3 4 との間に細長いパッド 2 3 を有する。第 3 位置 3 6 はスピナル軸 1 5 の第 2 側 2 7 にあり、第 4 位置 3 8 はスピナル軸 1 5 の第 1 側 1 7 にある。第 3 位置 3 6 および第 4 位置 3 8 の向きにより、第 2 ショルダーストラップ 2 2 は、その上端部 3 2 と下端部 3 4 との間でスピナル軸 1 5 を横切り、かつ第 1 ショルダーストラップ 2 0 も横切る。

【 0 0 0 9 】

第 1 ショルダーストラップ 2 0 には、その下端部 2 8 に、第 1 位置 2 6 と第 2 位置 3 0 との間で測定されるストラップ 2 0 の全長を調整する調整装置 4 0 が配置されている。同様に、第 2 ショルダーストラップ 2 2 には、その下端部 3 4 に、第 3 位置 3 6 と第 4 位置 3 8 との間で測定されるストラップ 2 2 の全長を調整する調整装置 4 2 が配置されている。調整装置 4 0、4 2 を利用することにより、要求に応じてショルダーストラップ 2 0、2 2 の全長を別々に調整することができる。調整装置 4 0、4 2 に加えて、またはその代わりに、ストラップ 2 0、2 2 の上端部 2 4、3 2 にさらなる調整装置（図示せず）を設けてもよい。ストラップ 2 0、2 2 の上端部 2 4、3 2 はそれぞれ、第 1 位置 2 6 および第 3 位置 3 6 においてスロート 1 6 に形成される溝穴（図示せず）内に固定される。使用しない時に第 1 ショルダーストラップ 2 0 および第 2 ショルダーストラップ 2 2 の弛みを巻き取るために、スロート構造 1 6 内にリトラクタ（図示せず）を組み込んでよい。ストラップ 2 0、2 2 の下端部 2 8、3 4 は、第 2 位置 3 0 および第 4 位置 3 8 において本体 1 1 に取り付けられるリング 4 4、4 6 を通して伸びる。あるいは、ストラップの下端部 2 8、3 4 を、本体 1 1 の位置 3 0、3 8 に直接縫い付け、それによりリング 4 4、4 6 をなくしてもよい。

【 0 0 1 0 】

ゴルファーが第 1 ショルダーストラップ 2 0 を一方の肩に掛け、第 2 ショルダーストラップ 2 2 を他方の肩に掛けてゴルフバッグ 1 0 を携行するとき、第 1 ショルダーストラップ 2 0 および第 2 ショルダーストラップ 2 2 は、実質的にゴルファーの両肩の間の中間である交差点 4 8 において互いに交差するように配置される。これにより、ゴルフバッグ 1 0 は、第 1 ショルダーストラップ 2 0 および第 2 ショルダーストラップ 2 2 によって均一に支持され、これはシングルストラップ構成に比較して非常に有利な点である。しかしながら、ゴルフバッグ 1 0 をゴルファーの肩の上に引き上げる際に、ゴルフバッグ 1 0 が第 1 ショルダーストラップ 2 0 によって持ち上げられると、第 2 ショルダーストラップ 2 2 は、図 1 において矢印 A で示されるように、使用者から離れてスピナル軸 1 5 の第 2 側 2 7 に向かって落ちる可能性がある。第 2 ショルダーストラップ 2 2 がこのように落ちる場

合、ゴルファーが本体 11 の周りに手を伸ばし第 2 ショルダーストラップ 22 を把持することが不都合である可能性がある。

【0011】

したがって、ゴルフバッグ 10 は、第 2 ショルダーストラップ 22 がゴルフバッグ 10 の第 2 側 27 に向かって落ちないようにするストラップガイドアセンブリ 50 を含む。ストラップガイドアセンブリ 50 は、ABS または同様の熱可塑性材料等の軽量材料で作製されるシャックル 52 を備える。シャックル 52 は、第 2 ショルダーストラップ 22 の中間部分 48 が通過している第 1 孔 54 を有している。第 2 ショルダーストラップ 22 は、ジャックル 52 にスライド可能となっている。弾性部材 56 は、一端 58 において、シャックル 52 に形成された第 2 孔 60 に取り付けられている。また、弾性部材 56 は、第 2 端 62 において、スピナル軸 15 の第 1 側 17 において本体 11 の頂端部 12 から底端部 14 に向かって離間している第 5 位置 64 に取り付けられる。弾性部材 56 は、第 2 ショルダーストラップの中間部分 48 において、ジャックル 52 を介してスライド可能となっている。弾性部材 56 は、ばね、ばねリトラクタまたは他の同様の装置等、いかなる従来の弾性手段であってもよい。例示する実施形態では、弾性部材 56 は、ゴムひもを含む。このゴムひもは、第 2 ショルダーストラップ 22 が降ろされているとき、第 2 ショルダーストラップ 22 を第 1 側 17 に向かって付勢するための十分な弾力性を有し、かつ、第 2 ショルダーストラップ 22 が背負われているとき、第 2 ショルダーストラップ 22 が第 3 位置 36 から使用者の肩まで実質的に直線状に伸びることを可能するための十分な長さを有する。弾性部材 56 は、第 2 ショルダーストラップ 22 の中間部分 48 と第 5 位置 64 との間に引張力を加える。

【0012】

本明細書では、いくつかの例示的な実施形態および方法について開示したが、当業者には、上記開示から、本発明の精神および範囲から逸脱することなく、かかる実施形態および方法の変形および変更を行ってもよい、ということが明らかとなろう。たとえば、外部ストラップガイドの代りに、内部補強材によって第 2 ストラップを第 1 側に向かって付勢してもよい。したがって、本発明は、添付の特許請求の範囲および適用可能な法律の規則および原理によって要求される範囲のみに限定されるべきである、ということが意図されている。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図 1】本発明の特徴を組み込んだゴルフバッグの斜視図である。

【図 2】図 1 に示すゴルフバッグの拡大斜視図である。

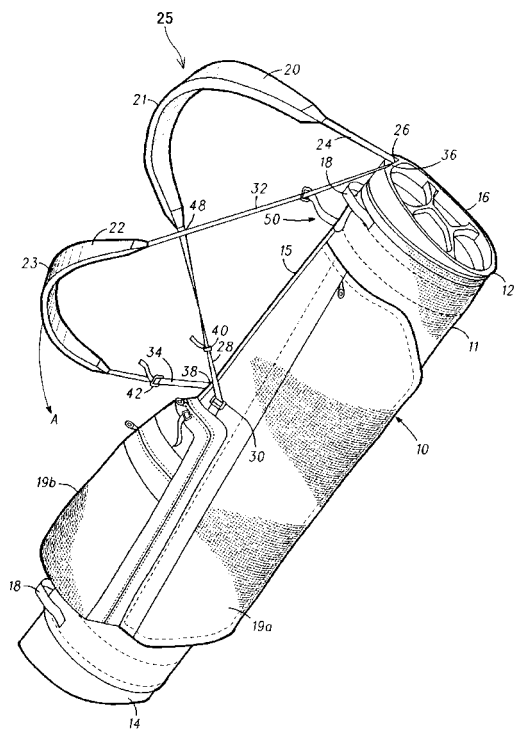
【符号の説明】

【0014】

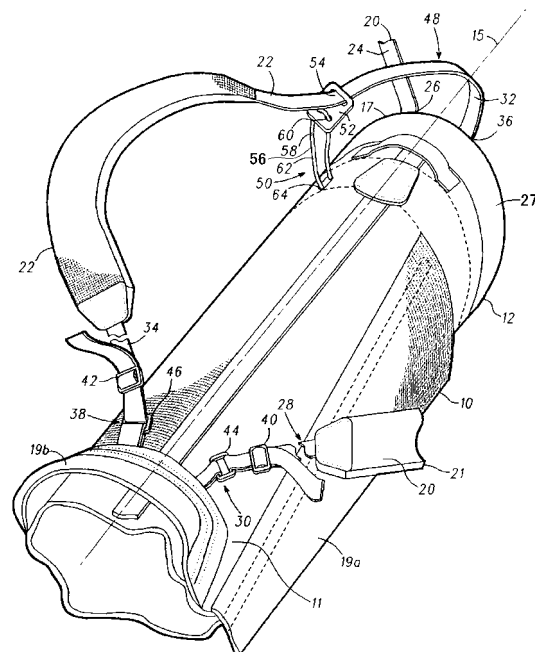
- 10 : ゴルフバッグ
- 11 : 本体
- 12 : 頂端部
- 14 : 底端部
- 15 : スピナル軸
- 16 : スロート構造
- 17 : 第 1 側
- 18 : ハンドル
- 19 a、19 b : アクセサリポケット
- 20 : 第 1 ショルダーストラップ
- 21、23 : パッド
- 22 : 第 2 ショルダーストラップ
- 24、32 : 上端部
- 26 : 第 1 位置
- 27 : 第 2 側

- 28、34：下端部
- 30：第2位置
- 36：第3位置
- 38：第4位置
- 40、42：調整装置
- 44、46：リング
- 50：ストラップガイドアセンブリ
- 52：シャックル
- 54：第1孔
- 56：弾性部材
- 60：第2孔
- 64：第5位置

【図1】



【図2】



---

フロントページの続き

(72)発明者 フランク エイ． クアトロネ 三世  
アメリカ合衆国 85022 アリゾナ州 フェニックス ノース 7番 ストリート 1622  
0 アpartment 3152

審査官 高 橋 祐介

(56)参考文献 特開平09-135936(JP,A)  
米国特許第06669069(US,B1)  
登録実用新案第3104775(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)  
A63B 55/00  
A45F 3/04